

# 回覧



島から日本一楽しい学校を  
～子どもが未来に誇れる学校～

平成29年3月16日 第30号

校長 酒井 元治

## 小中高一貫教育アンケート・記述への回答

これも2学期に実施した小中高一貫教育アンケートにあった記述に対しての回答です。前回の学校評価に加えてお知らせしようと思っていたところですが、スペースの都合で、掲載することができませんでした。

いただいたご意見は、小学校だけでなく中・高の保護者のみなさまの分も入っています。保護者のみなさまにとって、十分納得のいくものではないかもしれません、町教育委員会と小中高の校長・教頭で話し合い回答しています。なお、統計としてのアンケート結果は「おぢか新聞3月号」に掲載しています。

### ご意見（一貫教育で伸ばして欲しいこと）

- ①低学年の頃は、高学年、中、高のお兄さんお姉さんへの憧れだけでよかったです。小6になると次の年には中学生としての生活になります。その時に小6のままの言葉づかいに行くと困ることもあると思います。社会に出ていく第一歩として考えると、態度や言葉づかいがきちんとできるようになってほしい。仲良くする部分とそうじゃない時の違いというか…。
- ②小値賀町民の皆も同じですが、自分の意見や表現をしっかりできるようになってほしいです。集団の中で、意見を言える子がないような気がします。
- ③上級生を見てよい部分を吸収。英語力をさらに育てて欲しい。

### 学校より回答

- ①礼儀や言葉遣いについては、おっしゃる通りかと考えます。現在学校でも指導しているところですし、今後も徹底したいところです。
- ②小値賀の子どもたちのいいところは素直さなのですが、表現や新たななものに挑戦することには苦手意識が感じられます。この部分はそれぞれの学校で日頃から取り組んでいきたいと考えています。
- ③英語教育については、国の基準で小学校5年生から実施される英語活動を、小値賀は小中高一貫教育の取組として小学校1年生から導入しています。今後、こども園でも月1回程度ではありますが、英語指導者による英語遊びを取り入れていく予定です。

### ご意見(一貫教育への要望)

- ①希望としては、こども園も含めての教育にしてほしいです。年間を通してこういう行事を予定していますと一覧表を作っていたら職場に休日を頼みやすいので…。
- ②高校生、少ない人数ながら良く頑張っていると思います。でも、少人数なので文化祭、体育祭など、さびしく感じます。今の小学生たちが高校生になるころにはどうなっているのか心配です。
- ③行事によっては小中ののみの行事があるので、せっかくなら全ての行事を一緒にしてほしい。（小学校と）運動会も一緒にしてほしい。

### 学校より回答

- ①前述しておりますように、こども園には今後、英語遊びや小学校体育館での運動遊び、1・2月に小学校の職員が出向いての絵本の読み聞かせ等を検討中です。また、各学校の年間行事予定は4月に配布し、小中高一貫教育に関わるものはおぢか新聞にも掲載しております。今後、各学校のホームページ等でもお知らせしますのでご確認をお願いします。なお、年度当初の予定が変わることもありますのでご了承ください。(その際は各校より早めにお知らせいたします。)
- ②③合同行事については、小・中でできるもの、中・高ができるもの、小・中・高全てでいっしょにできるものをその発達段階から判断し計画しています。例えば、小学校1年から高校3年までの体育大会となると、かなりの運動能力の差があること、時間的にかなりの無理が予想できることから考え難いところです。様々な行事については、今後の児童・生徒数によって形態を変えていくものもありますが、現段階での実施形態にご理解ください。

### ご意見(部活動について)

部活の問題です。男子は野球に入っている子たちは人数が足りない。野球を小学校でしていない子たちの選択は陸上しかない。

小中高一貫教育というのならば、部活動の面も考えてほしいと思います。子どもが少ない中いろいろな部活があると、部活動の存在も危うくなるし、小中高で統一の部活動があると強化にもつながるのではと思います。子どもたちには選択することができなくなっています…。例えば、男子野球、女子ソフトテニス、男女共通吹奏楽とか…。

### 学校より回答

部活動の問題は保護者のみなさんからのご意見が多く、学校側としても悩ましい問題です。事実これからの存続が難しい部もあるのですが、今現在がんばっている生徒もいる中で廃部の決定はしかねるところです。非常に難しい問題ではありますが、今後とも生徒や保護者のみなさんのお考えを聞きながら共に考えていきたいと思います。

### ご意見(制服について)

中高ジャージは同じなのに、制服が違うのはなぜかわからないです。ここぞと思うときに小中高一貫になつてないのがどうかと思う。制服とかも中高同じでいいと思う。経済面も考えてほしい！！

### 学校より回答

現在北松西校の制服はブレザーになっていますが、先輩のいわゆる「お下がり」を使用している生徒が多いのが現状です。ご意見の通り、中学校の制服に合わせるという方法もあるのですが、生徒が進学したという実感と自覚を持つためにも、制服は違っていた方が良いのではないかと考えます。以前は違っていた中高のジャージを数年前に変更したもの、保護者負担の軽減になればとの思いからです。その他の面で変更できるところは変更し、保護者負担の軽減につなげたいと思いますので、ご了承くださいとともに、いいアイデアがあれば各学校にお知らせください。

## 表彰式 いっぽい！！

今年度も残すところ1週間ほど。様々な表彰でいっぱいです。

コンクールの表彰から1年間取り組んできた暗唱、読書(多読賞)、そして、9月から取り組んだ「どうどうリクエスト選手権」です。

### 税に関する絵はがきコンクール

青年部会長賞 6年 大久保 綾美



### 暗唱の部

#### ～暗唱テキスト合格～

1年	神崎 茉実				
2年	吉村 優羽	野澤 あかり	小崎 羽香奈		
3年	福崎 真奈	小辻 太一郎	堀内 久渡 戎本 海羽		
	木村 大和	伊藤 秀一			
4年	伊藤 玲緒	笹山 心春	北村 和月		
5年	伊藤 莉子	岩坪 果恋			
6年	牧尾 ありす	中川 莓花	近藤 花音		

#### ～スペシャル名人合格～

1年 田中 優衣子 神崎 茉実

2年	森岡 聖蓮	野澤 あかり	小崎 琴音	中野 友稀
	新田 結月	千葉 慎太郎		
3年	松本 我道			
4年	田中 優花子	遠山 琉伊	笹山 心春	
5年	濱田 朔羅			

#### ～都道府県名人合格～

2年	中野 友稀	宮崎 真之	高橋 徳臣
3年	松本 我道		

### 読書の部(年間多読賞)

#### 1年

1位 田中 優衣子(159冊) 2位 土田 恵生(155冊) 3位 神崎 茉実(136冊)

#### 2年

1位 中野 友稀(170冊) 2位 田中 瑠海(162冊) 3位 新田 結月(133冊)

#### 3年

1位 木村 大和(138冊) 2位 川口 さくら(129冊) 小辻 太一郎(129冊)  
3位 辻 彩弥斗(124冊)

#### 4年

1位 川口 優紀(126冊) 2位 田中 優花子(111冊)  
3位 松田 すぐり(104冊)

#### 5年

1位 渡部 愛加(245冊) 2位 橋本 萌愛(97冊) 3位 濱田 朔羅(84冊)

#### 6年

1位 川口 真歩(174冊) 2位 中川 莓花(153冊) 3位 大久保 綾美(88冊)

### どうどうリクエスト選手権

#### 金メダル 4年「マジック」

川口 優紀 北村 和月 笹山 心春 田中 優花子 松田 すぐり

銀メダル 1年 「フラフープ」遠山 飛佑

銅メダル 3年 「リコーダー(山のポルカ)」

堀 遥嘉・戎本 海羽



その他、最初にエントリーしてくれたチームや頑張りが顕著だったチームには審査委員特別賞を渡しました。

# 回覧



島から日本一楽しい学校を  
～子どもが未来に誇れる学校～

平成29年3月24日 第31号

校長 酒井 元治

## 凛々しく、たくましく！

28年度も今日の修了式で終わり。保護者のみなさま、地域のみなさまには、この1年陰となり日向となり様々な場面で学校にご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

また、今日の修了式に先立って、17日の卒業式には多くのご来賓にご臨席いただきながら、10名の卒業生を送り出すことができました。本当にありがとうございます。卒業生も地域に包まれている温かさを感じながら巣立つことができました。



ご来賓の方や保護者のみなさまから、式後に声をかけていただいたように、手前味噌ではありますが、凛としたたくましい卒業生の姿と、姿勢や態度で卒業式を盛り上げ、祝おうとする在校生の姿を見ることができたではないかと思います。同じ校舎の中で次に会うときには制服を着た中学校1年生。きっと違った顔をしていて、この10名が自分の目で見るこの学校の景色もちょっと違うんだろうなと思い見送りました。10名の卒業生が自分の色で輝く中学校生活を送ってくれることを願わずにはいれません。



## あたたかせいいっぱいの小値賀をあとに

私たちは学校という畑に吹く風。時が過ぎれば別の所に吹き行く運命です。子どもたちという芽がすくすくと伸びるように、時には暖かく、時には涼しく、あるいは厳しく吹く風です。どんな風だったのかは芽である子どもたちの成長に表れること。この時期は風が変わる季節です。小値賀小学校という肥沃な畑に3~4年吹いた風たちの最後の言葉です。

\*氏名横の（ ）は小値賀小の勤務年数、  
下は4月からの赴任先です。



茂山 康代 教諭(3年)  
佐世保市立山手小学校へ



先生  
ありがとう

「最後の1年を楽しもう！」と思っていたのですが、3年で小値賀を離ることとなりました。初めて小値賀に来た日、不安な気持ちでいっぱいだった私を小雨が降る中、多くの先生方や地域の方に迎えていただきとても嬉しかったことを覚えています。

小値賀小学校では、元気で活発な2年生と出会い、一緒に町探検をしながら小値賀について勉強しました。地域の方に出会うたびに温かな言葉かけがありました。そして1年生担任。地域全体で子ども達を育て、共に成長を喜んでくださる姿を間近で見ました。小値賀小学校での生活最後となった今年は6年生担任。子ども達は下級生のお世話をよく頑張り学校のリーダーとして立派に成長していました。

この3年で小値賀の教育力のすばらしさを肌で感じました。次の学校でも、小値賀で学んだことを忘れずに頑張りたいと思います。至らないところが多くあったと思いますが、温かく見守っていただきありがとうございました。感謝いたします。



千葉 秀紀 教諭(4年)  
南島原市立蒲河小学校へ

小値賀小学校には4年間お世話になりました。ちょうど新校舎が落成した年です。校舎も、机もピカピカでした。そして何より、学校で学ぶ子どもたちが素晴らしいと思いました。授業中真剣に学ぶ姿がありました。掃除を一生懸命がんばる姿がありました。

小学生だけでなく、合同校舎で一緒に学ぶ中学生は、立ち止まってきちんとあいさつをしてくれました。「あいさつのきちんとできる人は素晴らしい人」と言われます。この伝統を、大切に続けて欲しいです。

また、運動場に出ると「先生一緒に遊んでください」と声をかけてくる人がたくさんいました。毎日楽しく学校に来ることができました。

今度の異動で、南島原市の蒲河小学校に転勤となりました。次の学校でも、子どもたちとたくさん勉強し、たくさん遊べるようにがんばります。

保護者の皆様、地域の方々には温かく声をかけていただきました。本当にありがとうございました。

あっという間の4年間でした。島生活は寂しいだろうと不安でしたが、人情あふれる小値賀のみなさんのおかげで本当に幸せな日々でした。笑顔で登校してくる子どもたち。支えてくださる同志の先生方、保護者のみなさん。また、学校生活に限らず、劇団とんとでは表現する楽しさを、さわらびでは太鼓の面白さを共有させていただきました。小値賀の文化の灯は眩しいです。子どもたちにはぜひ、学業、部活動に限らず、一住民として地元を盛り上げ創り上げてほしいです。小値賀町は地元のために自ら行動される先輩方であふれる素晴らしい町です。地域に根ざす生き方を学ばせていただき、本当にありがとうございました。

感謝の思いは尽きません。小値賀町のみなさま、大変お世話になりました。大好きな小値賀に幸多からんことを願っています。



竹添 明日香 養護教諭(4年)  
長崎市立桜が丘小学校へ

約4年前、ドキドキしながら母校での教育実習に臨みました。実習が終わるとき、「絶対に養護教諭になりたい!」と改めて決意してから半年後、まさかその母校に初任で赴任するとは思いませんでした。養護教諭としてのスタートを小値賀小学校で迎えることができ、嬉しかったです。赴任してからは、可愛い子どもたちに何度も元気をもらったりとかわかれません。保健室にやって来いろいろな話を聞かせてくれる子、ケガや病気をして心配した次の日に「大丈夫です!」と元気な顔で登校してくれる子・・・小値賀小の子どもたちの笑顔は、いつも私を笑顔にしてくれました。

また、至らない点が多々あったことと思いますが、保護者の方々や関係機関、地域の方々のあたたかさに助けていただきながらの4年間でした。今後、小値賀に帰省することもあると思います。その時は、声をかけていただくと嬉しいです。4年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



長谷川 恵子 教諭(4年)  
大村市立富の原小学校へ

田頭 さおり 学校用務員(4年)  
歴史民俗資料館へ



学校用務員になって良かった!と思える日々を過ごしました。小値賀のたくさんの方々にも支えられていると実感する出来事も多々ありました。ありがとうございました。

そして、これからもよろしくお願いします。